

令和6年度 市貝町立市貝小学校 学校評価書

1 教育目標

1	さとく	○よく聴き、よく考え、主体的に学ぶ児童
2	やさしく	○豊かな心をもち思いやりのある児童
3	たくましく	○明るく元気で何事にも積極的に取り組む児童

2 学校経営の方針

経営目標	「一人一人の子供を大切に、協働して信頼に応える職員集団」
①	主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくり～ICTの効果的活用による新しい学びの創造～
②	一人一人が輝き、仲間と共にあゆむ学級づくり
③	ふるさとを愛する子供の育成
④	地域・保護者と連携・協働した教育活動が展開される開かれた学校
⑤	積極的に学校運営に参画し、「チームいちかみ」で取り組む教職員集団
教育スローガン (学校生活の基本)	
あいさつ あつまり あとしまつ 笑顔きらきら 市貝っ子	

3 今年度の努力点

◎主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくり (特に、ICTの効果的活用) ・基礎・基本を定着させる学習指導の充実 ◎読書指導の充実 ・外国語科・外国語活動の推進 ◎特別支援教育・インクルーシブ教育の推進 ・未来を見据えた総合的な学習の充実	◎道徳教育の充実 ◎共感的な児童指導の実践 ◎ふるさと教育の充実 ・人権教育・福祉教育の充実 ◎体力づくりの推進 ◎健康教育・安全教育の推進 ◎食育の充実	◎地域と学校の協働体制の充実 ◎ふるさと学習の充実 ◎地域と連携した安全指導の徹底 ◎教職員の資質の向上 ◎保護者・地域との連携 ・学校経営への積極的な参加 ◎業務改善の推進
---	---	---

4 評価

- ※ 学校関係者評価 右欄に A=優れている B=良い C=おおむね満足 D=改善を要する
- ※ 児童・保護者アンケート 左欄に A=優れている B=良い C=おおむね満足 D=改善を要する
- ※ 令和6年度職員26名 (回答数の割合で表示する。但し各自の業務内容該当項目のみ回答するためすべての項目は26名回答とはならない。)
- ※ A→25%以上 A 評価(D 評価無) B→AB 評価で 50% C 評価→C 評価が全体の 25% D 評価→D 評価が全体の 25%

項目	評価指標	主な具体的評価指標 ★は本年度の重点	自己評価		学校関係者 (学校運営協議会委員) 評価	
			評価%	取組状況、成果・課題		
教育課程	・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気 ・児童は生き生きと生活している。 ・教職員は責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。	① 児童や学校の実態、保護者や地域の意見・要望を踏まえ、学校としての教育目標(重点化された目標)を適切に設定している。	A=69 B=31 C=0 D=0	A	○新学期当初だけでなく、職員会議ごとに教育目標や毎月の各種指導について確認する時間があるので、共通認識のもと、指導にあたることができた。	(別紙)
		② 学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員の共通理解を図っている。	A=50 B=50 C=0 D=0	A	○継続する行事、削減する行事、実施時期の変更等、教務から話題を出していただけたことで、担任同士で相談することができたことが良かった。 ○随時、先生方の意見を取り入れながら下校時刻を変更していただけてありがたい。 ○活動や行事等、教育課程を確認しながら実施している。	
		③ 教育課程の実施に必要な教科ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。	A=56 B=38 C=6 D=0	A	○合同訪問もあったので、それに向けて適切に作成できたと思う。 ○週案は毎週丁寧に見てもらってありがたい。 ○年間指導計画の朱書きは、担任のさじ加減でよいのか心配。 ・年計と実際の予定があっていないところがあるため、改善したい。 ・来年度、総合的な学習の時間でプログラミングをどのように入れていくのか、検討する必要がある。	
		④ 全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に運営している	A=50 B=44 C=6 D=0	A	○道徳主任がノートの持ち帰りを全職員に伝えてくれたことで、家庭との連携も図れた。 ○校長先生による道徳の授業での校歌の演奏やお話が大変良かった。	
		★ 豊かな体験活動の場の設定などを行い、ふるさと学習の推進を図っている。	A=25 B=50 C=25 D=0	A	○よく取り組んでいると思うが、予算については実施にあたっての適宜見直しが必要。 ○これまでやってきたことを実践してきたが、新たな取組は常に模索していくと良い。 ○ふるさと学習の場が2学期はできなかった。昔遊びもできたら良かった。 ・外部人材などをもう少し活用できるとよかった。	

児童・保護者アンケート(設問7、12)	児童	A A	保護者	A A	<p>○(児)学校が楽しい。先生が優しい。みんなと仲が良い。</p> <p>○(児)自然が豊かで、校庭が広い。</p> <p>○(保)自然豊かでのびのび生活できる。</p> <p>○(保)地域を生かした体験活動、ICTを活用した授業を行っている。</p>
学習指導	教職員は児童に確かな学力を身に付けさせるために努力している。	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした分かる授業の展開に努めている。	A=33 B=60 C=7 D=0	A	<p>○ねらいを明確にした授業実践に取り組むことができた。</p> <p>○学力向上推進リーダーからの御指導のもと、自分の授業改善を努めた。お互いの授業を気軽に見合えるようになると、更によいと思う。</p> <p>・授業内容を見直したい。</p>
		②T、Tによる習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、個に応じた指導を適切に実施している。	A=27 B=67 C=6 D=0	A	<p>○昨年度よりは安定的にTTに入ってもらえているが、やはり人手不足を感じる。</p> <p>○TTの先生には、学力差や不登校傾向といった指導で特に助けていただいた。</p> <p>○2学期からは、算数は必ずTTの先生は入ってください、ありがたかった。支援タイムもありがたかった。個別最適な学習を実施できるときは、意識して実施するようにした。</p> <p>○TTと連携して個別指導にあたることができたが、支援を必要とする児童が多く、なかなか手が回らないことも多かった。補充的な学習が多くなってしまい、発展的な学習については課題が残った。</p> <p>○算数に限られていたが、②、③年生のクラスに週5ずつ入れたのはよかった。個別指導が必要な子だけでなく、個に応じた指導をもう少し工夫したい。</p> <p>○1学期よりも算数のTTには安定してどなたかが入ってくださるようになってきてありがたい。一方で、手厚いクラスと手薄なクラスに偏りがあるのを感じている。次学年につながるように、クラスの人数配分だけではなく、学力テストの結果なども踏まえてTTを配分するとよいのではないかと。</p> <p>○算数には安定して入っていただいた。</p> <p>○算数の学習では、特にTTの先生がいて助かった。</p>
		③各教科等で身に付けた知識や技能との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。	A=7 B=77 C=8 D=8	B	<p>○総合でまとめる際に、国語で学んだこと調べたことの要点をメモすることや相手を意識した文章づくりを行うことができた。ただ、総合的な学習の時間の深まりには課題があった。</p> <p>・調べ学習が中心となり、体験が少ない。本校の強みを生かした学習ができるとういのではないかと。</p>
		★ICT機器の利点を追求し、効果的な活用法を実践することを通して、主体的、対話的で深い学びにつながる指導法を工夫する。	A=67 B=27 C=6 D=0	A	<p>○学校課題との関連もあり、多くの授業場面で取り組むことができた。</p> <p>○公開授業へ向けて授業検討をしていくことで、ICTの利点を理解した上で授業を組み立てることが出来た。研究してきたことを積極的に学習につなげていると思う。</p> <p>○一年生なりに活用できるよう工夫した。練習や発表の様子を動画に撮り、見返して練習や振り返りに生かすことは効果的だった。</p> <p>○廊下の掲示物にICTで作成したものを使う取組が良かった。自由参観日付近は休日に親と取り組む課題を出して掲示するとよいのではないかと。</p> <p>○一人ずつ考えを共有するのに時間がかかってしまう学習内容では、ICT機器を用いて一斉に意見交換できるようにし、主体的・対話的な学びになるよう工夫した。</p>
		★読書の習慣化を目指した読書指導を実践している。	A=7 B=73 C=20 D=0	B	<p>○秋の読書月間では、意図的に図書室へ行くようにした。</p> <p>○読書の指導実践を行うことが出来た。しかし、タブレットによる学習、体力づくり、自主学習といった、習慣化を図ったり、取り組ませたりしなければならぬことが多く、児童がめいばいの様子が感じられた。</p> <p>○個人差が大きい。もっと、担任が意識して声かけをする必要があると感じた。</p> <p>○掲示物や階段下の読書コーナーなどの環境を整えている取組はよい。児童の個人差が大きいので、全体で盛り上がっていくとさらによい。</p> <p>○読書の記録を活用した。個人差はあるが40冊を達成している児童もいた。授業の中で、一斉に図書室を利用(本を借りに行く機会)することができなかったため、図書室の利用についても個人差がある点が課題。</p> <p>○読書月間での図書室利用率はよかったが、学年によっては読書の記録が形骸化しているように感じている。担当の方から声をかけ、月・木の朝の読書の時間に有効に活用するとよい。</p> <p>○毎週本をクラスで借りに行っている。</p>
児童・保護者アンケート(設問1、3)	児童	A B	保護者	B C	<p>○(児)勉強が楽しい。授業で、友達と話し合いながら、内容が分かる。</p> <p>○(児)読書に親しんでいる。世界のことが書いてある本やいろいろな本が増えるとよい。</p> <p>○(保)校外学習、ICTを活用した学習など、学習環境がよい。</p> <p>▲(保)読書にはあまり親しめていない。</p>

心の教育・道徳教育	・ 教職員は児童が豊かな心を育み、道徳的実践力が身に付くように、心の教育及び道徳教育の充実に努めている。	① 教育活動全体において体験活動を充実させ、温かい人間関係づくりを通して思いやりの心が育まれるように努めている。	A= 31 B= 56 C= 13 D= 0	A			
		★ 考え、議論する特別の教科道徳の実践を通して、児童が善悪についてしっかりとルールやマナーを守り、道徳的実践力が身に付くように努めている。	A= 21 B= 57 C= 22 D= 0	B	○根気強く、その都度指導している。 ○グループやペアでの議論はできるが、考えの発表ができない児童が多く、指導を継続している。 ○児童の考えを揺さぶるような発問をすることを意識した。また、終末は必ず自分事として考えさせることを通して、道徳的価値の積み重ねができたと思う。 ○隣の人と意見交換などをさせながら学習を進めてきたことで、少しずつ議論する姿もみえてきた。	A	
児童・保護者アンケート(設問 5)	児童	B	保護者	A	○(児)3あ運動を頑張っている。大きな声であいさつできるようにする。 ○(保)子供が明るく元気である。だれにでもあいさつできる。		
キャリア教育	・ 教職員は児童が将来の生活によりよく適応し進歩する能力を伸ばせるように努めている。	① 日記指導や日々の学級指導において、児童が自分の日常を振り返ったり、自分のよいところに気付いたり、伸ばしたい自分の姿や目標などを意識したりする機会を設けている。	A= 15 B= 77 C= 8 D= 0	B	○めあてに対する毎月の振り返りはできたが、日常的に振り返りを行うまでには至らなかった。今日ノートなどを実施するとよかった。 ○2 学期は行事(運動会、持久走大会)が多かったので、目標をもたせて頑張らせたり、努力出来たところを認めてもらったりということができた。 ○帰りの会で、今日の振り返りをする時間を設けている。		
		② 学級活動等の指導計画に、将来のことを考える学習を位置付け、自分の将来の夢や希望を目指して努力するよう指導に努めている。	A= 8 B= 46 C= 31 D= 15	B	○道徳の時間と関連させ、仕事の話を取り上げたことはあったが、将来の夢や希望を目標として努力しようと思えるまでの指導は出来なかった。 ・学活の中で、キャリアパスポートがなければ将来について考える機会をあまりもつことはできなかった。時々振り返る活動を入れても良かった。 ・指導計画に位置づけられていないので、実施できなかった。 ・学級活動で設けることができなかったため、3学期には、学年が上がることも話しつつ、将来のことを話せるようにしたい。		
児童・保護者アンケート(設問 11、16)	児童	A	保護者	B	○(児)家の人とよく話をしている。 ○(保)学年関係なく仲が良い。上級生が下級生の面倒を見ている。		
児童指導	・ 教職員は児童が希望や目標をもって生活し好ましい人間関係を醸成し、基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	① 全職員の共通理解の下に指導体制が整備されている。	A=31 B=69 C=0 D=0	A	○毎月の児童指導部会・学習指導部会で課題を確認できたので、同一歩調で取り組むことができた。特に、トイレのサンダルについては、かなりの成果があったと思う。教師が共通理解の基、本気になって指導にあたれば児童は変わることが実感できた。今後も、共通認識で指導にあたることで、児童のより良い成長を促して行ければと思う。 ○各部会、職員会議等、先生方で共通理解・共通行動が図られ、協力して対応することができたと思う。 ○忙しい中でも、ケース会議を開催するなどして、情報を共有して共通理解・共通行動が取れるようにできたと思う。担当がいつも作ってくださる児童指導日誌は、他学年の様子も分かるのでありがたい。ただ、作成が大変なので、もう少し簡単になる方法があるとういと思うが・・・。 ○児童指導の記録は、ブロック内だけでなく、月末などには学年の先生にも回覧するようにしてはどうか。ジャンパーやコートなどの防寒着の着用に関する事など、どんな子どもや親がいるのか知っておいた方がよい。また、児童指導の記録も実施するのであれば、フランクに話してもらえるとよい。		
		② 規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切に行っている。	A= 38 B= 56 C= 6 D= 0	A	○指導を行っているが個人差や家庭環境の差が見られる。 ○児童に指導するときには、なぜルールがあるのか、なぜ守らなければならないのか理由をきちんと説明することを意識して取り組んだ。それにより、担任が言わなくても、児童同士で声を掛け合うことができるようになってきた。 ○「3あ運動」に根気強く取り組み、意識が高まってきた。「当たり前のことが当たり前」に出来るように継続して指導していきたい。 ○ハンカチ・ティッシュの携帯や手洗いうがい、整理整頓、あいさつなど、細かいところを繰り返し指導してきた。まだ声かけは必要だが、徐々に身に付いてきている。規範意識についても繰り返し指導してきた。 ○サンダルの放送は大変効果があった。		
		③ 児童の問題行動に対する未然防止となるよう指導に当たっている。また、問題行動発生時に適切な指導と関係職員への確実な報告や相談	A=44 B=50 C= 6 D= 0	A	○未然防止策としてこまめに聞き取りを行っている。 ○休み時間は、児童とコミュニケーションを重視し、児童の表情や会話から気になることは個別に話をしたり、指導をしたりした。また、問題行動が発生したときには、管理職や児童指導主任に相談し、対応することを心がけた。 ○昨年度や1学期に比べて、かなりケース会議がスムーズに開か		

					を実施している。			れるようになっていてよいと思う。心の教育相談員や SSW にも参加してもらえるようになったことは、児童指導がかなり閉鎖的ではなくなり、大きな一歩だと感じている。 ・報告、相談を必ずして、適切な指導が出来るよう心がけた。未然防止という点については、課題が残る。休み時間の雑談などで話す機会が偏ったり、十分でなかったりした。もう少し関わりをもつようにして、児童の様子を把握し、未然防止につながるよう努めたい。	
					④ 教育相談を定期的に行い、児童理解に努めている。	A=36 B=64 C=0 D=0	A	○必要に応じて、期間外にも行っている。 ○教育相談以外にも、日常的に児童と会話することを心がけた。 ・十分に時間をとり、アンケート通りの質問の他にもいろいろ話ができるようにした。ただ、教育相談では、困り事はないと言っていたが、後に保護者からトラブルがあったことを聞くということもあった。	
					★ 思いやりの心、JRC の理念(気づき、考え、実行する)を基盤とした「3あ」運動の推進にあたっている。	A=38 B=56 C=6 D=0	A	○「3あ」運動は、日常的に声をかけて意識させた。 ○定着が難しかったが、根気強く声かけし、徐々に実践できるようになってきている。特にあいさつはよくなってきていると思う。もう少し頑張らせた。 ○サンダル環境が大いに改善された。下駄箱の靴がバラバラなもの、上手に声をかけていけば改善できると思う。 ○サンダルの整頓の働きかけは効果的だった。 ・あいさつが改善されなくて困っている。	
					★ 居がいがあり、思いやりのある学級、学校集団に努めている。	A=31 B=63 C=6 D=0	A	○1 学期の QU テストの結果を踏まえて、2 学期は満足群以外の児童との関わりを特に意識した。具体的には、その児童が活躍する場や賞賛される場を意図的に設けるようにした。2 学期の QU の結果は少しではあるがよくなった。また、友達の良さを見付けられた児童を賞賛することで、児童同士の認め合える環境づくりを心がけた。 ○先生方の児童一人一人を大切にす熱い想いが学級経営の充実につながっていると思う。 ○授業や休み時間の関わりを通して、交友関係を広げられるよう努めた。友達との関わり方について、指導が必要な児童も多い。3 学期も引き続き指導していく。	
	児童・保護者アンケート(設問 4)	児童	A	保護者	A			○(児) 優しく話しやすい。わかりやすく勉強を教えてくれる。話しやすい。 ○(保) 子供と向き合って、親身に接している。 ○(保) 一人一人の様子をしっかりと見てくれて、相談しやすい。	
	人権教育							・ 教職員は一人一人を大切に、児童が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	① 教育計画への適切な位置づけを行い、人権意識の高揚を図っている。 A=31 B=63 C=6 D=0 A ○クラスの中には、発達段階の差があることを互いに理解し、助け合えるようにしている。 ○道徳と関連づけながら指導にあたった。
								② 各教科等の特質に応じて「育てたい能力・態度」の育成に努めている。 A=38 B=56 C=6 D=0 A ○単元を通して児童が身に付けるべき力を明確にしなが、毎時間の授業づくりに取り組んだ。	
								③ 校内研修の機会を捉え、教職員自らが自分の言動について振り返り、人的感覚を磨くように努めている。 A=25 B=63 C=6 D=6 B ○不祥事の事例研修については、いつ自分の身に起こってもおかしくないという感覚で真剣に考えるようにした。 ○教員の児童への呼び捨てやあだ名呼びはずいぶん減ったように感じる。 ・人権の校内研修がなかった。 ・人権研修を位置づけると良い。	
	児童・保護者アンケート(設問 6)	児童	A	保護者	A			○(児) みんなが遊んでくれる。助け合っている。優しいし親切。 ○(保) 対応が丁寧。子供の普段の様子を見てくれているので、相談するとすぐ分かってもらえる。	
	特別支援教育							・ 教職員は一人一人のニーズを把握し適切な教育的支援を行っている。	① 指導部会・職員会議後や打合せ等で共通理解に努め、児童指導や学習指導について校内指導体制が整備ように自分の立場より努めている。 A=44 B=50 C=6 D=0 A ○校務分掌の担当や学年担任など、それぞれの立場で自分が何が出来るかを常に考え、指導にあたった。 ○児童指導部会では、遊具の使い方やトイレのサンダルの乱れなど、問題を共有して全校で指導することが出来た。 ・共通理解は図れるが、もう少し時間が短縮できるとありがたい。
								② 個別の指導計画を適切に作成し、共通理解と活用を努めている。 A=40 B=60 C=0 D=0 A ○個別の指導計画作成にあたり、特別支援コーディネーターの先生や管理職の先生方に御指導頂けてありがたかった。また、夏と秋の個人懇談があることで、保護者と情報交換しながら作成できたこともよかった。 ・扱い方が明らかではないので戸惑う。	

		③ 必要に応じて、医療、福祉など関係機関等との連携を適切に図っている。または、図ってもらえるように担当や関係職員に働きかけている。	A=37 B=63 C=0 D=0	A	○心の教育相談員やSCと連携して検査を行うことができた。 ○気になる児童については、特別支援コーディネーターの先生や管理職に相談し、対策を考えるようにしたが、保護者の理解が得られず、医療機関等との連携を図ることができなかった。	
		★ 一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援を行っている。(個に応じた指導・支援タイム活用等)	A=31 B=69 C=0 D=0	A	○特別支援学級までではなくても、学習面で個別の支援を要する児童が多い。通級教室の時間数が増え、気になる児童は低学年のうちに繋いでいくことが理想だと思う。 ○もみの木教室に通級が始まり、さらに個に応じた支援を行うことができた。 ・行っているが、やりすぎてしまうと次年度が心配。(入級等が確定しているのであればよいですが)	
	児童・保護者アンケート(設問 2)	児童 A 保護者 A			○(児)いろいろな教科があり、プログラミングなどたくさんの体験をさせてくれる。 ○(保)子供一人一人の個性を理解して、それに合わせて教育を行っている。	
保健・健康教育	学校は、児童及び教職員の健康の保持増進に努めている。	① 児童を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等を含む)に関する体制を整備している。	A=27 B=60 C=13 D=0	A	○保健体育や薬物乱用防止教室で指導を行った。	
		② 日常の健康観察や疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。(養護教諭との連携)	A=33 B=60 C=7 D=0	A	○2学期後半から始まった保健委員会の1週間の保健室利用状況の紹介は、児童の健康管理の意識状況に役立った。	
		③ 健康診断や環境衛生検査を適切に実施し、事後処置の徹底を図っている。	A=44 B=56 C=0 D=0	A	○毎日ハンカチやティッシュの検査を行っている。 ○毎日の健康観察でハンカチ・ちり紙の携帯を確認、月1回の衛生検査、給食配膳時の始動等、折に触れ声をかけるようにしてきた。また、保健だよりを配布するときには、内容を紹介することを意識した。 ○衛生検査はチェック表を作成し、チェックが付いた児童については、後日個別に確認した。保護者にも呼びかけているが、洗顔や歯みがきがなかなか定着しない。	
		④ 食育に関する指導を各学年の年間指導計画に位置付け、適切に実施している。	A=20 B=67 C=13 D=0	B	○栄養教諭による授業を1学期は実施できたが、2学期は実施できなかったことが反省点である。でも、一口メモは毎日、係の児童が読み上げることで、食に関する意識が高まるようにした。 ・2学期に実施することが出来なかったため、3学期に実施する予定。 ・実施できない学年があり、調整が必要。	
		★ 教科体育及び教育活動全体の中で、効果的な体力づくりを実践している。	A=27 B=67 C=0 D=6	B	○サーキットを取り入れている。 ○体育でも、自分でレベルを選び活動に取り組むことで、苦手意識を無くしつつ、運動量を確保できるように意識した。 ○持久走大会に向けた体力づくりは、がんばりカードの色を塗ることを楽しみに意欲的に取り組んでいた。普段の体育でも、ダッシュやサイドステップなどで走るメニューを取り入れるなど工夫している。 ○教育相談中の体力づくりはよかった。 ・一年間を通して、体力づくりの計画と効果的な実施をしていく。 ・通年で、体力づくりが行えると良い。	
児童・保護者アンケート(設問 8、9、10)	児童 A A A 保護者 B B B				○(児)おいしい給食が食べられる。 ○(保)給食がおいしい。あおぞらタイムがある。 ○(保)自然とふれあいながら、のびのび活動できる。	
安全管理・安全教育	学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	① 学校事故等の緊急時に適切な対応ができるような危機管理マニュアルを作成・活用している。	A=37 B=63 C=0 D=0	A	○管理職から、職員会議や打合せで注意喚起が図られることで、自分も常に意識しながら職務に当たることができた。	
		② 安全点検(通学路を含む)を組織的・計画的に実施し、危険防止の措置を講じている。	A=37 B=63 C=0 D=0	A	○危険箇所については、すぐ対応していただきありがたかった。	
		③ 交通ルールの遵守について学校行事や学級活動等を通して指導し、交通安全の意識の向上に努めている。	A=31 B=69 C=0 D=0	A	○交通安全教室で、実際に班ごとに歩行練習できることは、児童の意識向上につながるもので、今後も続けていけるとよいと思う。	

		④ 防災・防犯に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童の安全対応能力の向上に努めている。		A= 44 B= 56 C= 0 D= 0	A	○安全教育担当の先生を中心に、適切な訓練が実施できたと思う。ただ、自分は担任としての立場の役割しか経験したことがないので、もしものときに不審者への対応が出来るかは不安ではある。	
児童・保護者アンケート(設問 13)	児童	A	保護者	A		○(児)きちんとルールを守っていること。 ○(保)登校児童に毎朝あいさつ、コミュニケーションをとってくれる。心配事の相談にすぐ対応してくれる。	
組織運営	教職員は一致協力し、組織的、機動的な運営に努めている。	① 教育目標の具現化に向けて、職員が共通理解の下、協力して取り組むよう努めている。		A=38 B=56 C= 6 D= 0	A	○職員室で、気軽に話し合える雰囲気があり、ありがたかった。また、若手の先生が常に前向きに、そして新しいことをどんどん取り入れてしどうに当たる姿は、市貝小の素晴らしいところだと思う。	
		② 校務分掌や各主任の役割が適切に機能している。また、副主任は主任をサポートしている。		A=37 B= 44 C= 19 D= 0	A	○各主任の先生を中心に、それぞれの校務分掌が十分機能していたと思う。ただ、負担が多くなってしまふ先生もいると思うので、自分の校務分掌だけでなく、お互い様の精神で、自分の担当でなくても助け合えるとよかつたと思う。(自分の反省点です。) ・自分の分掌を意識できていないこともあるようだ。もちろん、職員間の協力は不可欠ですが・・・	
		③ 各種文書や個人情報等の学校が保有する情報を適切に管理している。		A= 47 B= 40 C= 13 D= 0	A		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****		
研修へ資質の向上	教職員は定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指して学び合っている。	① 校内の研究組織を生かして主体的に研究(学校課題・研究主題)に取り組むことができています。		A=31 B=63 C= 6 D= 0	A	○全職員で、学校課題・研究主題に取り組む雰囲気ありがたかった。また、自分の担当でなくても、仕事を引き受けてくださったり、よりよい研修に向けて様々な意見を出してくださったり、まさに、先生方が主体的に取り組んでいく姿は素晴らしかった。 ○ICT 教育研究推進校として、熱心に研究に取り組み、町内はもとより芳賀地区・県内に研究の成果を発信することができた。日々の取組の感謝。 ○振り返りの蓄積やICTの活用を実践することが出来た。学担会で、学校課題や学力向上改善プランの取組について確認することができていたのもよかつた。	
		② 学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に取り組んでいる。		A=43 B= 38 C= 19 D= 0	A	○特に ICT 活用について学校課題研究を通して理解が深まり、授業改善につながった場面が多かつた。 ○振り返りの蓄積を2学期から始めたが、めあてに対する振り返りが出来るようになってきている。ICTの活用についても、失敗しながらも積極的に取り入れて、効果的に活用することもできた。	
		③ 研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。研修したことを生かして職務に取り組んでいる。		A=44 B= 50 C= 6 D= 0	A	○研修で学んだことを、校内研修の場で活かすことが出来た。	
		★ 校内研修(教員同士の学び合い)が充実し、自分自身の資質の向上に役立っている。また年度当初より資質が向上している。		A=37 B= 63 C= 0 D= 0	A	○今年度は授業検討会を実施したことで、先生方と意見交換することができたので、新たな学びがあつた。やはり、授業を見合うことは何より勉強になるので、授業者が負担に思わないですむように周りでバックアップしながらも、来年度は一人一授業が実施できるとよいと思う。 ○校内研修のもちかたが変化し、有意義だつた。	
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****		
学校評価	学校は、学校評価を計画的に行い、改善を図るとともに、その結果を公表している。	① 学校運営への参画意識が高まるように職員で話し合い、評価指標を明確にして評価している。		A= 31 B= 69 C= 0 D= 0	A	○職員会議だとなかなか意見を言いにくい先生もいると思うので、気軽に話し合える学担会での学校運営への意見交流ができるのはよいと思う。	
		② 外部アンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としている。		A=19 B=81 C= 0 D= 0	B		
		③ 学校関係者による主体的能動的な評価が年1		A=27 B= 73	A		

		回以上定期的に実施されている。		C=0 D=0		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****	
情報提供	学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報を公開している。	① 学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分に分かりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。	A=31 B=63 C=6 D=0	A	○メールやHPなど、大変丁寧でよいと思う。	
		② 学校だよりや学年だよりの発行、ホームページの公開、メール配信等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。	A=75 B=19 C=6 D=0	A	○HPの更新が週1なのは大変なときがある。(決まりがあるわけではないのですが) ○どの学年も、週1回HPの更新を行っていた。また、担任が写真を撮ることが出来ない場面では、教務の先生がHPの更新をくださり、ありがたかった。学年だよりは、各学年で起案するのではなく、声を掛け合って一斉に起案した方が、見ていただく先生には良いか。(自分が起案を見る立場ではないので、どちらがよいのか分かりませんが。) ○HPの更新を意識して行った。他学年も頻繁にアップしていたと思う。 ○毎週金曜日、HPの更新をし、1週間の子供たちの様子を伝えている。	
児童・保護者アンケート(設問 14)	児童	A	保護者	A	○(保)ホームページで日常の様子が見られる。 ○(保)ホームページが写真付きでこまめにアップされている。	
保護者・地域住民等との連携	学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	① 地域コーディネーターと情報交換会を開き地域連携教員と連携を図りながら教育活動に当たっている。	A=33 B=53 C=14 D=0	A		
		② 保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に設け、アンケート等を実施するなどして、具体的な要望や意見を把握し適切に対応している。	A=37 B=63 C=0 D=0	A	○運動会等の大きな行事の後の保護者アンケートは回覧すると、自分のクラスだけでなく、他のクラスの保護者の意見も分かって、次年度の検討をするときに役立つと思う。	
		③ 地域の人々と交流する機会を設けたり、授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用したりしている。	A=37 B=50 C=13 D=0	A	○地域の人々の中に、授業の中でどのように活かすことができる人材がいるのかが一覧となり、各担任が分かっていたら、さらに人材活用が進むと思う。	
児童・保護者アンケート(設問 15)	児童	A	保護者	A	○(保)地域との関わりや町ならではの体験や校外活動ができるように、地域の方と協力している。 ○(保)先生たちと接点が多く、声かけやふれ合いの機会が多く安心する。	
教育環境整備	設置者と連携して児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている	① 学校の施設・設備を把握した上で、教育活動が有効化するように活用している。	A=31 B=69 C=0 D=0	A	○中庭の活用はどうか。	
		② 教材・教具・図書の整備状況を教員自身が把握し、教育活動で児童が有効に活用できるよう教科との関連を図ることができている。	A=27 B=67 C=6 D=0	B	○資料室の整理は毎年夏休みに実施しているが、黒板や昔の拡大地図等、処分してよいか悩むものは毎年そのままになっている。	
		③ 学習・生活環境が整備されるよう教室内の環境整備に進んで取り組んでいる。	A=40 B=53 C=7 D=0	A		
児童・保護者アンケート	児童	*	保護者	*	○(児)校庭が広く、運動しやすい。遊具がたくさんある。 ○(保)自然豊かで、のびのびと学校生活を送れる。 ○(保)子供が明日も学校へ行きたいと思うような環境を作っている。緑が多く、先生や保護者が協力して過ごしやすい環境整備をしている。	

文書処理	・文書・会計処理を適切に行う。	①文書書処理・会計処理を適切に行うことができたか。	A=21 B=72 C=7 D=0	B	*****		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****		
業務改善	・働き方改革を意識した業務改善	①働き方改革を意識した業務の精選や改善について、優先順位を付けた上で実施できたか。従来の方法だけでなく必要な業務を整理したり統合したりと内容の精選に努め、決められた時間内の業務調整を図れたか。	A=0 B=20 C=73 D=7	C	○精選しているが、どうしても時間内に終わらない。 ○業務の精選については、校内だけの意識改革ではむずかしいところがあると思う。 ○働き方改革を意識して残業時間が減るように努力はしたが、個人の努力だけでは難しいと感じる。 ○1学期よりも、自分なりに業務改善ができた。		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****		

学校運営についての意見

学校運営協議会委員	(別紙)
児童	<ul style="list-style-type: none"> ○校庭が広い。自然が豊か。運動がしやすい。遊具があつて楽しい。 ○勉強が楽しい。授業で、友達と話し合うと友達もできるし、授業の内容も分かりやすい。 ○友達がたくさんいる。みんな元気。学年に関係なく仲がよい。 ○先生が優しい。授業が分かりやすい。 ○そうじをしてきれいにする。 ○あいさつあつまりあとしまつをもっとがんばる。 ○ルールを守って、みんなで学校をよくしたい。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ○自然豊かで、伸び伸びと学校生活が送れる。送れる。緑が多く、先生や保護者が協力して過ごしやすい環境整備をしている。 ○地域の特色を活かした体験活動ができる。 ○ICTを活用した授業を行っている。 ○児童がみな仲がよい。学年の隔たりがなく、上級生も下級生も仲良く活動できる。 ○校長先生がとても親身になって話を聞いたり、子供たちを見たりしてくれている。先生は子供と向き合って、一人一人に寄り添っている。 △その他(主要要望・他の要望は保護者アンケート結果を参照) <ul style="list-style-type: none"> ・行事など、今までと変わったやり方をするとき、保護者にきちんと連絡してほしい。 ・職員もあいさつ運動に心がけるべきである。職員の言葉遣いや態度を注意してほしい。 ・配布物の資料の電子化。 ・意見や要望を言いやすい場所があるとよい。必要に応じた意見交換。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ○日課や行事などについて、担任にも話題を振っていただけるのでありがたい。管理職の先生方が、率先して個別対応が必要な児童やクラスに入ってくさるので、頭が下がるおもいです。管理職の先生方に相談しやすい雰囲気があった。一人で抱え込まなくて良いという気持ちになれてありがたかった。支援の先生など、担任をサポートしてくださる先生を呼んでいただきありがたかった。管理職の先生方が、担任の立場になって考えてくださったり動いてくださったりしたことが、職場環境をよりよくしてくれた。 ○次年度の学校運営に向けて、業務改善を図るためにも、先生方の意見などを聞きながらそれぞれの教育活動などの見直し、工夫・改善を図っていきたい。 ○教室に入れないなどの子供に向けた適応指導教室と、個に応じた対応をする特別支援教育は、似ている部分もあるが全く異なった対応が必要と感じる。同じ教室では、秩序を保つのが難しく非常に負担を感じた。 ○通知表の参考になるようなサイトを教えていただけたり、表彰関係をまとめていただけたり大変ありがたい。また、児童の対応も校長先生にまで入っていただけてありがたく思っている。いろいろな方が関わってくださり、ありがとうございます。 ○通知表を年に2回(10月、3月)、所見は今の半分くらいでもよいのではないかと。12月と3月に所見を書くのは、間隔が短くて個人的にはしんどい。 ○図工で版画や下美にむけてのデザインを作成するとき、担任だけでは手が回らないので、ボランティアがいてくださるとありがたい。 ○不登校傾向児童については、校内で対応を検討することも大切だが、対応には限界があるので適応指導教室との連携を図ることも必要だと思う。